

戦 評

大会名 第44回全日本バレーボール小学生福岡県大会

男子・決勝

期日： 2024年 6月 30日(日)

会場： 飯塚市総合体育館

ファーストレフェリー： 待鳥 昌光

セカンドレフェリー： 永田 遼

スコアラー： 関田 隆二

補助員： 飯原ウイング男子

幸絨 ジュニア 2 $\left(\begin{array}{c} 21 - 15 \\ 21 - 15 \\ - \end{array} \right)$ 島門 ジュニア

試合時間 〇 時間 31 分

1セット目は、島門が4対1とリードして始ま、たが、1本のサーブミスをおかけに幸絨が4番宮崎さんのサーブやスパイクで次々と点数を加えて10対4と試合をひっくり返した。

その後も1番下村さんと4番宮崎さんのスパイクドフェイントでポイントを積み重ね点差を広げ、セット終盤の島門の4連続ポイントもものこもせずに幸絨が1セットも先取した。

2セット目も島門リードで始ま、たが、幸絨が連続ポイントで点差を広げていき優位に試合を運び、18対9とした。

しかし、そこから島門も意地を見せ、6連続ポイントで18対15まで追いつけたが、幸絨の4番宮崎さんのスパイクで流れをきり、サーブエースで試合を決めた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 奥田 大介

戦 評

大会名 第44回全日本バレーボール小学生福岡県大会

女子・決勝

期 日： 2024年 6月 30日(日)

会 場： 飯塚市総合体育館

ファーストレフェリー： 岸川 秀輝

セカンドレフェリー： 佐々木 誠一

スコアラ－： 和田 義康

補助員： 志免 桜

鞍手 JVC 2 $\left(\begin{array}{c} 21 - 11 \\ 21 - 10 \\ - \end{array} \right)$ 金島 VBC はやぶさ 2

試合時間 0 時間 35 分

好決勝。金島6番中村さんのサーブで始つたゲームは鞍手1番古谷さんの強烈なスパイクで先制点を上げた。その後、3番春田さん、2番平川さんのサービスエース等で、7-1と鞍手リードでテクニカルタイムアウトとなった。金島も、4番キャプテン松尾さんのスパイクで追いつけを返すが、サーブで相手を崩し、満足に攻撃させない鞍手が試合を支配し、21-11で1セット目を鞍手が制した。

2セット目は鞍手3番春田さんのサービスエースで始まった。その後も1セット目同様にサーブで相手を崩し、鞍手が7-2リードし1回目のテクニカルタイムアウトとなった。金島は攻撃にミスが目立つようになり、14-5と大きく点差が開いて2回目のテクニカルタイムアウトとなった。粘り強い金島は、4番松尾さんのスパイク、6番中村さんのサービスエースで連続得点を上げたが、最後は鞍手5番平川さんのスパイクが決まり、21-10で鞍手が優勝を飾った。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 原田 寛

戦 評

大会名 第44回全日本バレーボール小学生福岡県大会

混合・決勝

期 日 : 2024年 6月 30日(日)

会 場 : 飯塚市総合体育館

ファーストレフェリー : 不動 忠輝

セカンドレフェリー : 龍川 ルミ

スコアラー : 茂田 エミ

補助員 : 小野 シュニア

江川青葉ジュニア 2 $\left[\begin{array}{r} 21 - 17 \\ 23 - 21 \\ - \end{array} \right]$ 0 大里南バレーボールクラブ

試合時間 0 時間 46 分

混合の部決勝戦は、九州地区決勝戦と同カードとなった。

1セット目、大里南キャプテン、神近のサーブを一本でサイドアウト。江川青葉同じくキャプテンと、平重のサーブで連続ブレイク。江川青葉の4-0でスタートし、この流れでいくかと思いきや、江川青葉のミスと大里南、神近のスパイクで、すぐ差を詰める。両チーム、一進一退の攻防の末、1セット目は、21-17で江川青葉が第1セットを勝ち取った。

2セット目序盤も、江川青葉、サウスポ-ース石山の活躍により走るも大里南、梅田のサーブで流れをフックリ逆点、に成功する。その後、江川青葉は、石山を中心に攻めるも大里南も要所でブロックで応戦、20-18で江川青葉マッテポイントを取るも、大里南久藤本のサーブで逆点。最後、両チーム 番にボールを集めるも23-21で江川青葉が初優勝を飾った。

※ 7~10行にまとめること。

戦 評 者 : 山下 遼